

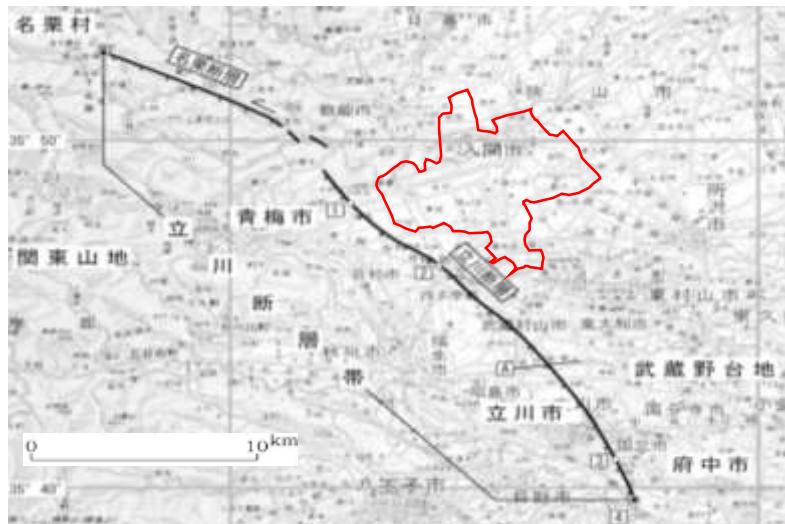
令和6年度第46回入間市防災訓練概要

1. 目的

近い将来発生すると言われている首都直下地震や立川断層帯に起因する活断層地震を想定し、自助・共助・公助体制を検証するために訓練を実施する。

また、震災時、風水害時ともに必要不可欠な避難所の開設手順や運営方法を確認するとともに、災害対策本部や現場本部の統括について強化を図る。

<立川断層と入間市の配置図（地震調査研究推進本部発表の図を抜粋。入間市境界を加筆。）>



参考

埼玉県の地震被害想定調査によると立川断層が活動した場合に発生する地震が、入間市に最も大きな被害をもたらすものと予測されています。（30年の発生確率は0.5～2%）

平成7年 阪神・淡路大震災 30年の発生確率は0.4～8%

平成28年 熊本地震熊本地震 30年の発生確率は0～0.9%

令和6年 能登半島地震 30年の発生確率は1～3% ※発生確率は、発生直前の数値

2. 訓練想定

令和6年11月10日（日）午前8時15分、立川断層によるマグニチュード7.4、震度6強の強い地震が発生し、直前には季節外れの長雨により市内の土壤雨量指数も高い状態にあつたため、土砂災害も発生している。（埼玉県地震被害想定調査に基づく地震の規模等）

地震により家屋が多数倒壊し、火災も多発し、また、電気、電話、ガス、水道などのライフラインに重大な障害が発生している。市は地域防災計画等に従い災害対応を開始する。

3. 重点項目

災害発生から数時間想定して、実態に合わせた訓練を実施する。

- (1) 避難所開設及び運営訓練の実施
- (2) 現場本部訓練の実施
- (3) 災害対策本部訓練の実施

4. 共同主催

入間市・入間市連合区長会

5. 訓練実施日

令和6年11月10日（日）雨天決行
(気象警報発令時など災害発生の恐れがある場合は中止)

6. 訓練会場

- ①48会場 避難所※豊岡高校・向陽高校・武道館・市民体育館、東金子地区体育館、やまゆり荘、を除く
- ②9会場 現場本部（各地区センター）
- ③1会場 災害対策本部（市役所）

7. 主要な実施内容

自主防災会、中学生

- ①安否確認訓練
- ②避難訓練
- ③避難者世帯把握訓練
- ④避難所施設点検・開設・運営訓練

市職員

- ①安否確認及び職員参集訓練
- ②避難所施設点検・開設・運営訓練
- ③現場本部の設営訓練、初動訓練、運営訓練
- ④災害対策本部の設営訓練、初動訓練、運営訓練

消防団

- ①安否確認及び消防団参集訓練
- ②団車庫施設点検・活動準備訓練
- ③被害状況確認訓練
- ④災害対策本部の設営訓練、初動訓練、運営訓練